

津山市議会議員

政岡あきひろの 議会報告

津山市の皆様には議会活動などをわかりやすく報告し、市政に関心を持っていただくために発行しています。この報告紙は政務活動費で発行しています。

あいさつ

津山市民の皆様、いつもお世話になっております。また、本年四月に行われました市議会議員選挙では、大変お世話になりました。おかげさまで、市議会議員として二期目の議席を、皆様方からお預かりすることになりました。心より、お礼を申し上げます。

改めて言うまでもありませんが、市民の皆様方から付託された二元代表制の権能をはたすべく、これからも精一杯取り組んで行きたいと考えておりますので、引き続きご指導ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願いたします。

さて、私は当選一期目の最初の議会から今日まで、議会が終わる度に「政岡あきひろの議会報告」を作成し、自らの議会における活動内容や議員としての取り組み姿勢について、広く市

民の皆様にお知らせするために、配布させていただいております。

この議会報告も、今回で第十七号となります。新聞報道等では伝えられない、津山市議会の様子、そしてそこにおける私の活動、さらには、行政内部の様子などについて、解りやすく市民の皆様にお知らせするために作成しております。何卒、ご精読いただきますよう、よろしくお願いたします。

新たな

津山市議会について

ところで、今回の市議会議員の選挙に関することや、新たに選出された議員による議長選出などの議会構成の様子を見られて、違和感を覚えられた方も多いのではないのでしょうか。実際、その渦中にいた私にとっても、理解できないことや納得できないことが色々ありました。

例えば、この度の選挙に関しては、根拠のない悪口や嫌がらせとしか思えない行為に悩まされることになりましたが、数多くの皆様から、御心配や励ましの言葉をいただきました。本当に、有難いことだと思っております。一方で、その度に私が申し上げたことは「私からお話することは何もありません」ということでした。ともあれ、良識ある市民の皆様方のおかげをもちまして、再び議席を与えていただきました。

さらに、その後における議長選出の流れも、市民の皆様からは理解し辛いものだと思います。市長派とか反市長派というように分け方（そのことが、地方議会においてふさわしいかどうかは別にして）や、政策的に方向性を同じくする集団というような基準ではなく、ただ議長のポストを獲得するための駆け引きが行われるということです。

そのような視点で今回の結果をご覧いただければ、何故、そのようになったかが想像していただけると思います。もちろん、私達は正統派として会派「未来」



を結成し、ことに臨みましたが、結果は新聞報道の通りです。組織があり役職が存在する限り、そのポスト争いは必定です。詳細は述べませんが、その為に時間をかけた駆け引きが行われます。また、時々により夫々が都合の良い論調の議論を展開するのが実情です。いずれにしても、私自身はこれまで通り、筋を通す生き方を貫いていこうと考えています。

質問内容（通告内容）

- ①市長の施政方針について。今後、津山市が向かうべき方向性について。行政運営施策全般に関する事項。
- ②学力向上と教育・学校施設等公共施設の施設整備と維持管理に関する事項。

質問内容

今回の質問では、まず、津山市が県北の雄都として生き残って行くために向かうべき方向性について、私の考え方を提言しながら市長の思いや考え方について質問しました。現在、我が国における多くの自治体が急速に進む少子・高齢化による人口減少を背景とした、地域社会や集落機能の維持に苦悩している中で、津山市が向かうべき方向性はどのようなものかという質問です。

裏面に続く

会派未来

発行 政岡あきひろ事務所
活気ある津山へ 未来志向改革!!

〒708-0014 津山市院庄 621-2
Tel. 0868-28-0501 Fax. 0868-28-4437
E-mail masaokape@ebony.plala.or.jp

市議会の内容は津山市役所ホームページから配信しております。
[URL] <https://www.city.tsuyama.lg.jp/city/index2.php?id=392>



私は、豊かな自然環境に育まれた歴史と文化に根差したまちづくり、と、いう考え方が必要である」と提言しました。この、津山市独自の貴重な財産である歴史と文化を活かして教育の再生とさらなる充実を図り、若い人達の移住・定住を促進することや滞在型の観光につなげる事が大切であると考えているからです。

さらには、そのことに家庭・学校・地域が一体となつて取り組むことにより、故郷を愛する高い住民意識が市民全体のなかに育まれていくことが期待されることを述べました。その、市民の中に育まれた高い住民意識は、これから津山市の多くの地域で取り組んで行かなければならない持続可能なまちづくりを支えるために必要不可欠のものだと思います。



これは、綺麗ごとや理想論で言っているわけではありません。先進的な取り組みや地域での活動に成果が見られるところでは、それに取り組んでいる人達の価値規範や意識が総じて高いということだと思います。言い換えれば、人が良くなければ何事も上手くいかないということだと思います。長い間自治会活動に携わってきた私の体験から言っても、このことは非常に大切なことだと思います。気の長い話の様ですが、良い人を育て、良い大人になつて貰い、このまちを担って貰う取り組みをして行かなければ、津山の未来に希望は持てないと私は考えています。

さらには、そのような地域・学校・家庭が一体となつて取り組む人づくりや、地域社会の人々が助け合わなければ生きていけなくなる将来を踏まえ、取り組んで行かなければならない持続可能なまちづくりを支え、そのような拠点となるべき公民館の重要性や柔軟な運営と施設整備のあり方についても、執行部を質しました。

続いての質問として、津山市の学校施設における汚水排水や給水設備等に関する維持管理に關して、現状の問題点を指摘し、今後採るべき対応策や組織全体としての取り組み姿勢の必要性を質しました。この点に關しては、日頃から市民の皆様や行政の職員等からお話を伺う中で私の知るところとなり、関係者等から実態を聴取したうえで質問をしました。また、そのことに効率的・効果的に取り組んで行くための体制作りや仕組みの構築が必要であることも提言しました。

答弁内容

市長からは、「議員の提言と方向性を同じくする想いである」と述べられたうえで、地域の誇りである歴史と文化を意識しつつ、教育の再生と魅力あるまちづくりを進めていきたいという答弁をいただきました。

また、教育長からも、学校・家庭・地域が一体となり、子ども達を育てる体制や環境を整え、人を育む力を培うことが大切であり、提言を踏まえ、子ども達がふるさと津山を愛し、心身共に健やかに成長できるよう、家庭や地域のつながりを深め教育活動の充実に努めたいという答弁をいただきました。

さらには、学校教育部長から施設を維持管理する上では、子

ども達が安全で安心して学校生活を送ることのできる学習環境の確保が最優先であり、教育委員会の組織全体で津山市の子ども達のために効率的で効果的な施設整備の向上に努めていきたいという答弁をいただきました。

終わりに

今回の一般質問では、津山市が県北の拠点都市として生き残るための方向性や、それを支える人づくりのための大切さ、またその人づくりのための環境整備のあり方について執行部と意義深い議論ができたと思っています。そのような、詳細な質問内容は、新聞などでは十分に報道され難いものです。それでも、議事録には載りませんが、中継動画をご覧いただければご理解いただけると思います。これからも、ぶれない姿勢を貫き、未来志向の改革により、子どもや孫たちの将来に資するようなまちづくりに取り組んで行きたいと考えています。今後とも、変わりますようご指導・ご鞭撻いただきますよう、よろしくお願いいたします。

